

令和6年4月 斐伊川水系水質情報

令和6年4月(宍道湖12日・中海6日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	6.5	☆	かなり高い	3.4	△	平 年 並 み	4.5	△	平 年 並 み
全窒素	上層	0.48	△	平 年 並 み	0.38	○	良好(平年並み)	0.39	○	良好(平年並み)
全リン	上層	0.057	△	平 年 並 み	0.044	△	平 年 並 み	0.042	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	37	×	やや高い	11	△	平 年 並 み	16	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	1,550	△	平 年 並 み	5,260	○	やや低い	6,000	○	やや低い
	下層	1,810	△	平 年 並 み	16,500	△	平 年 並 み	8,450	○	やや低い
溶存酸素	上層	11.1		平 年 並 み	10.5		平 年 並 み	12.0		平 年 並 み
	下層	10.3		平 年 並 み	5.5		平 年 並 み	7.5		平 年 並 み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	6.9	横ばい	3.7	やや下降	4.7	横ばい
全窒素	上層	0.50	横ばい	0.29	やや上昇	0.50	やや下降
全リン	上層	0.046	やや上昇	0.033	やや上昇	0.051	横ばい

宍道湖の透明度は1.3mから1.0mとやや下降し、やや悪い。中海の透明度は1.5mから1.4mと横ばいで、やや悪い。米子湾の透明度も1.4mから1.3mと横ばいで、やや悪い状況となっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

- 前月値±標準偏差値以上、以下の変化.....

上昇、下降
 前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化・・
 やや上昇、やや下降、横ばい
 前月値±標準偏差値の1/2以内の変化・・横ばい
- 注) 平均値±標準偏差値全体のおよそ68.2%
 平均値±標準偏差値の2倍・・全体のおよそ95.5%
 平均値±標準偏差値の3倍・・全体のおよそ99.7%